



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
 コード番号 6493 URL <https://www.niv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 金原 利道
 (氏名) 李 太煥
 TEL 0463-82-1311

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,366	3.1	842	14.5	907	11.5	422	3.0
30年3月期第1四半期	11,025	5.7	985	0.5	1,026	3.1	435	4.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 297百万円 (%) 30年3月期第1四半期 323百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	14.62	
30年3月期第1四半期	15.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	56,490	30,357	41.4
30年3月期	56,578	31,207	41.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 23,381百万円 30年3月期 23,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		6.00		6.00	12.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,200	1.0	1,300	15.9	1,400	13.4	600	20.3	20.77
通期	45,600	0.2	2,900	16.7	3,100	15.9	1,500		51.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	28,978,860 株	30年3月期	28,978,860 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	93,881 株	30年3月期	93,867 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	28,884,983 株	30年3月期1Q	28,885,392 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、生産・設備投資の増加や企業収益・雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調が続きました。先行きについても引き続き回復していくことが期待されますが、海外経済の不確実性や為替・株価の変動影響に留意する必要があります。一方、世界経済は、中国やその他新興国の経済の先行き、通商問題の動向などに留意する必要があるものの、全体としては緩やかに回復しています。

また、当社グループが関連する自動車業界は、国内市場は景気回復に伴う販売好調を背景に底堅く推移しました。海外市場は中国の需要拡大や米国・欧州の販売好調などを背景に概ね堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大、自動車用精密鍛造歯車の販売好調、PBWの量産開始等により前年同期に比べ大幅な増収となりました。海外事業は、アジア地域では生産が拡大したものの、北米の受注減少や為替換算の影響等により海外事業全体としては前年同期に比べ減収となりました。

この結果、売上高は、113億66百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

損益面につきましては、国内事業は増益となったものの、アジア地域におけるコスト増加や北米における受注減少等の影響により、営業利益は、8億42百万円（前年同期比14.5%減）、経常利益は、9億7百万円（前年同期比11.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外合弁事業が減益となったことや法人税等の計上額が増加したことなどから、前年同期に比べ減益となる4億22百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

<小型エンジンバルブ>

国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大や北米・中国向け製品の販売好調等により四輪車用エンジンバルブが前年同期に比べ大幅な増収となりました。二輪車用エンジンバルブは前年同期と同水準となりました。海外事業は、アジア地域では、台湾・インドにおける生産拡大等により増収となりました。北米地域では、一部製品の生産拠点移管に伴う受注減少や為替換算の影響等により大幅な減収となりました。欧州地域では、既存製品の受注増加や為替換算の円安効果等により増収となりました。

汎用エンジンバルブは、海外向け製品の増加により増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、国内事業は中空エンジンバルブの量産拡大や生産性改善等に伴うコスト削減により増益となったものの、アジア地域におけるコスト増加や北米における受注減少等の影響により前年同期に比べ減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、87億87百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益（営業利益）は、7億51百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<船用部品>

船用関連製品につきましては、海運・造船市場の本格的な回復には至っていないものの、海外向け製品の販売好調や拡販の成果等により船舶用および発電機用の組付部品・補給部品の受注が増加し、前年同期に比べ増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、生産性改善等に伴うコスト削減や拡販効果により増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、9億17百万円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益（営業利益）は、69百万円（前年同期比70.6%増）となりました。

<可変動弁・歯車・PBW>

可変動弁につきましては、量産終了に伴い、前年同期に比べ減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、海外向け製品の販売好調等により自動車用製品が前年同期に比べ大幅な増収となりました。産業機械用製品は前年同期と同水準となりました。

PBWにつきましては、当該製品の本格的な量産を開始したことにより大幅な増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、PBWの量産立ち上がりの効果等によりセグメント損失（営業損失）が縮小しました。

この結果、当セグメントの売上高は、11億72百万円（前年同期比32.3%増）、セグメント損失（営業損失）は、7百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）23百万円）となりました。

<その他>

バルブリフターにつきましては、中国向け製品の販売好調等により、増収となりました。

工作機械につきましては、グループ内部での取引が減少し減収となりました。

ロイヤルティにつきましては、グループ内部での取引が減少し減収となりました。

農作物につきましては、事業規模はまだ小さいものの販路拡大により増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、7億85百万円（前年同期比15.1%減）、セグメント損失（営業損失）は、11百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）34百万円）となりました。

なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、564億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して87百万円の減少となりました。

資産の部の流動資産は、220億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億87百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が2億87百万円、受取手形及び売掛金が2億77百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、344億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億75百万円の減少となりました。この主な要因は、機械装置及び運搬具（純額）が5億2百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、123億1百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億43百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が5億69百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、138億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億81百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が3億76百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部では、303億57百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億49百万円の減少となりました。この主な要因は、非支配株主持分が5億62百万円、為替換算調整勘定が5億円減少したことなどによるものであります。

なお、『税効果会計に係る会計基準』の一部改正（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想は、平成30年5月15日公表の「平成30年3月期決算短信」より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,858,858	6,145,964
受取手形及び売掛金	8,243,444	8,521,438
商品及び製品	2,537,430	2,811,606
仕掛品	1,399,019	1,369,705
原材料及び貯蔵品	2,574,909	2,679,536
その他	927,774	500,581
流動資産合計	21,541,436	22,028,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,140,519	5,978,187
機械装置及び運搬具（純額）	15,702,430	15,199,477
土地	1,138,923	1,132,380
建設仮勘定	1,357,852	1,640,953
その他（純額）	662,168	628,795
有形固定資産合計	25,001,894	24,579,794
無形固定資産	445,952	419,286
投資その他の資産		
投資有価証券	8,809,444	8,694,168
出資金	930	930
長期貸付金	52,391	49,127
繰延税金資産	424,199	447,242
その他	325,633	293,962
貸倒引当金	△23,839	△23,104
投資その他の資産合計	9,588,758	9,462,326
固定資産合計	35,036,605	34,461,407
資産合計	56,578,042	56,490,240

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,874,841	4,082,076
短期借入金	2,683,666	3,253,097
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	262,547	390,768
賞与引当金	341,858	87,974
役員賞与引当金	34,200	—
その他	3,721,159	4,347,813
流動負債合計	11,058,271	12,301,730
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期末払金	3,100	—
長期借入金	7,495,940	7,119,871
繰延税金負債	2,369,621	2,277,717
退職給付に係る負債	3,818,428	3,837,446
その他	324,917	295,526
固定負債合計	14,312,008	13,830,562
負債合計	25,370,279	26,132,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,494,518	4,494,518
利益剰余金	12,160,075	12,409,174
自己株式	△46,405	△46,410
株主資本合計	21,138,732	21,387,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,901,696	3,840,737
繰延ヘッジ損益	—	1,025
為替換算調整勘定	△782,740	△1,282,862
退職給付に係る調整累計額	△589,050	△565,504
その他の包括利益累計額合計	2,529,905	1,993,396
非支配株主持分	7,539,124	6,976,724
純資産合計	31,207,762	30,357,946
負債純資産合計	56,578,042	56,490,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	11,025,600	11,366,826
売上原価	9,118,046	9,613,999
売上総利益	1,907,554	1,752,826
販売費及び一般管理費	921,746	909,854
営業利益	985,808	842,972
営業外収益		
受取利息	8,623	16,272
受取配当金	70,669	79,591
持分法による投資利益	58,401	47,145
雑収入	18,946	22,375
営業外収益合計	156,639	165,384
営業外費用		
支払利息	36,150	35,702
為替差損	73,509	53,297
雑損失	6,485	11,417
営業外費用合計	116,145	100,416
経常利益	1,026,302	907,940
特別利益		
固定資産売却益	1,579	552
特別利益合計	1,579	552
特別損失		
固定資産除却損	6,895	20,358
固定資産売却損	224	30,561
減損損失	623	—
特別損失合計	7,743	50,919
税金等調整前四半期純利益	1,020,138	857,573
法人税等	254,600	302,784
四半期純利益	765,537	554,788
非支配株主に帰属する四半期純利益	330,208	132,379
親会社株主に帰属する四半期純利益	435,328	422,408

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	765,537	554,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△191,936	△60,929
繰延ヘッジ損益	7,345	1,513
為替換算調整勘定	△344,174	△740,784
退職給付に係る調整額	19,775	26,592
持分法適用会社に対する持分相当額	66,609	△78,765
その他の包括利益合計	△442,379	△852,373
四半期包括利益	323,158	△297,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,961	△114,100
非支配株主に係る四半期包括利益	161,196	△183,484

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(法人税等の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』（企業会計基準第 28 号 平成 30 年 2 月 16 日）等を当第 1 四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車・ P B W	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	8,764,477	810,546	886,319	10,461,343	564,257	11,025,600	—	11,025,600
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	360,658	360,658	△360,658	—
計	8,764,477	810,546	886,319	10,461,343	924,916	11,386,259	△360,658	11,025,600
セグメント利益 又は損失(△)	922,233	40,567	△23,755	939,045	34,129	973,174	12,633	985,808

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額12,633千円は、セグメント間取引消去50,661千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△38,028千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車・ P B W	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	8,751,764	917,609	1,172,228	10,841,602	525,223	11,366,826	—	11,366,826
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	35,850	—	—	35,850	259,792	295,642	△295,642	—
計	8,787,614	917,609	1,172,228	10,877,452	785,016	11,662,469	△295,642	11,366,826
セグメント利益 又は損失 (△)	751,186	69,188	△7,712	812,663	△11,481	801,181	41,790	842,972

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額 41,790 千円は、セグメント間取引消去 80,827 千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△39,036 千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。